

1.

$f(x) = x^2 - 3x + 1$, $g(x) = -x^2 - 3x + 1$ とおくと

$$C: \begin{cases} y = f(x) & (x \geq 0), \\ y = g(x) & (x \leq 0). \end{cases}$$

$f'(x) = 2x - 3 = 1$ を満たす x は, $x = 2 (> 0)$

であり, $f(2) = -1$ より, 点 $(2, f(2))$ における

C の接線の方程式は,

$$y = x - 3.$$

$g'(x) = -2x - 3 = 1$ を満たす x は, $x = -2 (< 0)$

であり, $g(-2) = 3$ より, 点 $(-2, g(-2))$ における

C の接線の方程式は,

$$y = x + 5.$$

$a < 0$ より,

$$a = -3. \dots (\text{答})$$

$y = g(x)$ のグラフと l の共有点の

x 座標は,

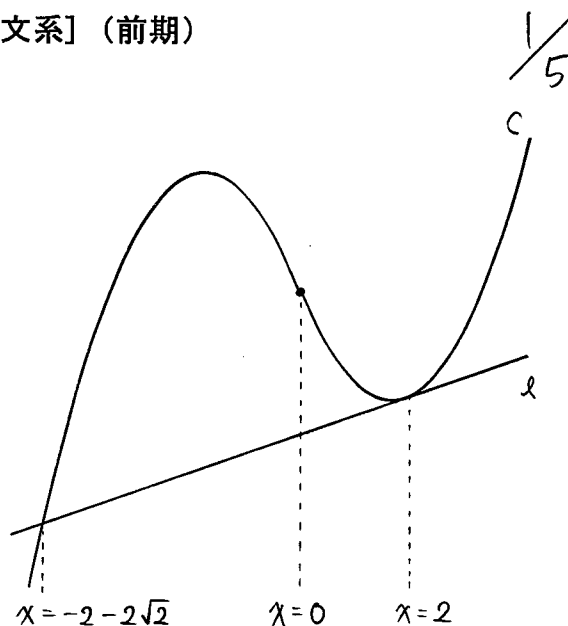
$$g(x) - (x - 3) = -x^2 - 4x + 4 = 0$$

より

$$x = -2 \pm 2\sqrt{2}.$$

$-2 + 2\sqrt{2} > 0$ をふきえると

C, l は次の図のようになる。



よって求める面積を S とすると,

$$S = \int_{-2-2\sqrt{2}}^0 \{g(x) - (x-3)\} dx + \int_0^2 \{f(x) - (x-3)\} dx$$

$$= \int_{-2-2\sqrt{2}}^0 (-x^2 - 4x + 4) dx$$

$$+ \int_0^2 (x^2 - 4x + 4) dx$$

$$= \int_{-2-2\sqrt{2}}^0 \{8 - (x+2)^2\} dx$$

$$+ \int_0^2 (x-2)^2 dx$$

$$= \left[8x - \frac{1}{3}(x+2)^3 \right]_{-2-2\sqrt{2}}^0$$

$$+ \left[\frac{1}{3}(x-2)^3 \right]_0^2$$

$$= 8(2+2\sqrt{2}) - \frac{1}{3} \{2^3 - (-2\sqrt{2})^3\}$$

$$+ \frac{1}{3} \{0 - (-2)^3\}$$

$$= 16 + 16\sqrt{2} - \frac{8}{3} - \frac{16}{3}\sqrt{2} + \frac{8}{3}$$

$$= 16 + \frac{32}{3}\sqrt{2}. \dots (\text{答})$$

2

求める x の二次関数を

$$y = ax^2 + bx + c \text{ とおく.}$$

ただし, $a \neq 0 \dots \textcircled{1}$

2つのグラフ

$$y = ax^2 + bx + c \text{ と } y = x^2$$

は2点で交わるので,

$$ax^2 + bx + c = x^2$$

すなわち,

$$(a-1)x^2 + bx + c = 0 \dots \textcircled{P}$$

は異なる2実解 α, β をもつ $\dots \textcircled{**}$

よって, $a \neq 1 \dots \textcircled{2}$

であり,

(\textcircled{P})の判別式)

$$= b^2 - 4(a-1)c > 0 \dots \textcircled{3}$$

また, 2つのグラフ

$$y = ax^2 + bx + c \text{ と } y = x^2$$

のグラフの共有点のいずれにおいても接線と y 軸が直交するので,

$$(2ax + b) \cdot 2x = -1$$

すなわち

$$4ax^2 + 2bx + 1 = 0$$

は異なる2実解 α, β をもつ $\dots \textcircled{**}$

($\textcircled{**}$), ($\textcircled{**}$)より

$$(a-1)x^2 + bx + c = (a-1)(x-\alpha)(x-\beta)$$

$$4ax^2 + 2bx + 1 = 4a(x-\alpha)(x-\beta)$$

と表さゆるので,

$$x^2 + \frac{b}{a-1}x + \frac{c}{a-1} = x^2 + \frac{b}{2a}x + \frac{1}{4a}$$

は x の恒等式である.

よって, a, b, c の条件は,

$\textcircled{1}, \textcircled{2}, \textcircled{3}$ と

$$\frac{b}{a-1} = \frac{b}{2a} \dots \textcircled{4}, \frac{c}{a-1} = \frac{1}{4a} \dots \textcircled{5}$$

をすべて満たすことである.

$$\textcircled{4} \text{より}, 2ab = (a-1)b$$

$$b(a+1) = 0$$

$$b = 0, \text{または } a = -1$$

(i) $b = 0$ のとき

$$\textcircled{5} \text{より } 4ac = a-1$$

$$\textcircled{1} \text{より } c = \frac{a-1}{4a}$$

このとき, $\textcircled{3}$ より,

$$\frac{(a-1)^2}{a} < 0$$

$\textcircled{2}$ より, $(a-1)^2 > 0$ であるから

$$a < 0$$

(ii) $a = -1$ のとき ($\textcircled{1}, \textcircled{2}$ を満たす)

$$\textcircled{5} \text{より}, c = \frac{1}{2}$$

このとき, $\textcircled{3}$ より (任意の実数 b)
 $b^2 + 4 > 0$ (で成り立つ)

以上より, 求める二次関数は

$$\begin{cases} y = ax^2 + \frac{a-1}{4a} \\ y = -x^2 + bx + \frac{1}{2} \end{cases} \dots \textcircled{答}$$

(a は任意の負の実数,
 b は任意の実数)

3

$$f(m, n) = (m+1)n^2 + am^2 + 8$$

m が奇数のとき,

$(m+1)n^2$ が偶数, am^2 が奇数であるから, $f(m, n)$ は奇数であり, 16で割り切れることはない.

よって, m は偶数であり, このとき

$m+1$ が奇数, am^2 が偶数であるから, $f(m, n)$ が16で割り切れるためには, n が偶数であることが必要である.

以下, $(m, n) = (2k, 2l)$ とする
(k, l は整数)

$$\begin{aligned} f(m, n) &= (2k+1)(2l)^2 + a(2k)^2 + 8 \\ &= 4\{(2k+1)l^2 + ak^2 + 2\} \end{aligned}$$

であり, これが16で割り切れるのは, $(2k+1)l^2 + ak^2 + 2$ が4で割り切れる
...①

ときである.

一般に, N を整数として,

$$(2N)^2 = 4N^2, (2N+1)^2 = 4(N^2 + N) + 1$$

より, 偶数, 奇数のそれぞれを2乗した数を4で割った余りは, 0, 1である
...(*)

(ア) l が偶数のとき

(*)より, $(2k+1)l^2$ が4で割り切れるので, ①が成り立つのは $ak^2 + 2$ が4で割り切れるときである.

• k が偶数であれば, (*)より

$$ak^2 + 2 \text{ を } 4 \text{ で割った余りは } 2,$$

• k が奇数であれば, ak^2 は奇数なので

$$ak^2 + 2 \text{ は } 4 \text{ で割り切れない.}$$

(イ) l が奇数のとき

$(2k+1)l^2$ が奇数なので, ①が成り立つために ak^2 が奇数であることが必要.
 $k = 2k' + 1$ とし, (*)より $l^2 = 4l' + 1$ とする.
(k', l' は整数)

$$\begin{aligned} &(2k+1)l^2 + ak^2 + 2 \\ &= (4k'+3)(4l'+1) + a(2k'+1)^2 + 2 \\ &= 4(4k'l' + k' + 3l' + ak'^2 + ak' + 1) + a + 1 \end{aligned}$$

より, ①が成り立つのは, 奇数 a を4で割った余りが3のときである.

このとき,

$$(m, n) = (2(2k'+1), 2l)$$

(k' は整数, l は奇数)

とすれば, $f(m, n)$ は16で割り切れる.

求める奇数 a の条件は,

$$4 \text{ で割った余りが } 3 \text{ であること.}$$

... (答)

4

与えられた条件から
 $|\vec{OA}| = |\vec{OB}| = 1, \vec{OA} \cdot \vec{OB} = \frac{1}{2}$
 がある。

$$\cos \angle AOB = \frac{\vec{OA} \cdot \vec{OB}}{|\vec{OA}| |\vec{OB}|} = \frac{1}{2}$$

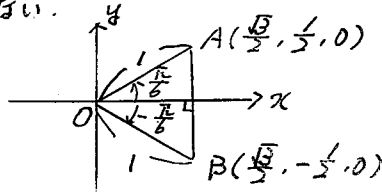
とあり、

$$\angle AOB = \frac{\pi}{3}$$

よって、座標軸をとりなおして、Oは原点のとき

$$A\left(\frac{\sqrt{3}}{2}, \frac{1}{2}, 0\right), B\left(\frac{\sqrt{3}}{2}, -\frac{1}{2}, 0\right)$$

とし、Cは $z \geq 0$ の範囲にあるとすると、
 zはつぎのようになる。



C(p, q, r) (r ≥ 0) とすると

$$|\vec{OC}| = 1, \vec{OA} \cdot \vec{OC} = \vec{OB} \cdot \vec{OC} = -\frac{\sqrt{3}}{2}$$

より

$$\begin{cases} p^2 + q^2 + r^2 = 1, & \dots \textcircled{1} \\ \frac{\sqrt{3}}{2}p + \frac{1}{2}q = -\frac{\sqrt{3}}{2}, & \dots \textcircled{2} \\ \frac{\sqrt{3}}{2}p - \frac{1}{2}q = -\frac{\sqrt{3}}{2}, & \dots \textcircled{3} \end{cases}$$

②, ③より

$$p = -\frac{1}{\sqrt{3}}, q = 0$$

とあり、①に代入して

$$\frac{1}{3} + r^2 = 1 \text{ となるので } r = \frac{1}{2}$$

よって、 $r \geq 0$ となる

$$r = \frac{1}{2}$$

よって、

$$C\left(-\frac{1}{\sqrt{3}}, 0, \frac{1}{2}\right)$$

さらに、D(x, y, z) とすると

$$|\vec{OD}| = 1, \vec{OA} \cdot \vec{OD} = \vec{OB} \cdot \vec{OD} = \frac{1}{2},$$

$$\vec{OC} \cdot \vec{OD} = \frac{1}{2}$$

より、

$$\begin{cases} x^2 + y^2 + z^2 = 1, & \dots \textcircled{4} \\ \frac{\sqrt{3}}{2}x + \frac{1}{2}y = \frac{1}{2}, & \dots \textcircled{5} \\ \frac{\sqrt{3}}{2}x - \frac{1}{2}y = \frac{1}{2}, & \dots \textcircled{6} \\ -\frac{1}{\sqrt{3}}x + \frac{1}{2}z = \frac{1}{2}, & \dots \textcircled{7} \end{cases}$$

⑤, ⑥より

$$x = \frac{2}{\sqrt{3}}R, y = 0, \dots \textcircled{8}$$

$x = \frac{2}{\sqrt{3}}R$ を④に代入して

$$z = \frac{2}{\sqrt{3}}R + \frac{1}{2}, \dots \textcircled{9}$$

⑧, ⑨を④に代入して

$$\frac{4}{3}R^2 + \left(\frac{2}{\sqrt{3}}R + \frac{1}{2}\right)^2 = 1$$

整理して

$$8R^2 + 2\sqrt{3}R - \frac{3}{2} = 0$$

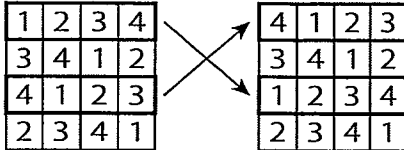
よって $R > 0$ とすると

$$R = \frac{-\sqrt{3} + \sqrt{12}}{8}, \dots \textcircled{10}$$

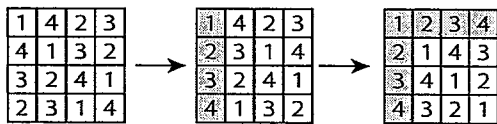
5

「どの行にも、どの列にも同じ数字が1回しか現れない...(*)」

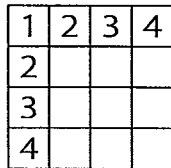
という条件を満たす数字の入れ方があったとき、その行や列を入れ替えてできる数字の入れ方もまた(*)を満たすものとなる。(下の例は1行目と3行目を入れ替えたもの)



条件を満たす数字の入れ方に対して、行の並び替えをすることで1列目に数字が上から1, 2, 3, 4の順に並ぶようにでき、さらに2列目から4列目の並び替えをすることで、1行目に数字が左から1, 2, 3, 4の順に並ぶようにできる。

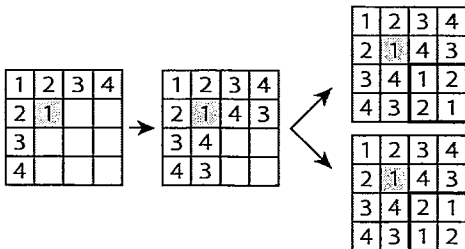


したがって、以下の形での残り3x3マスの数字の入れ方を考える。

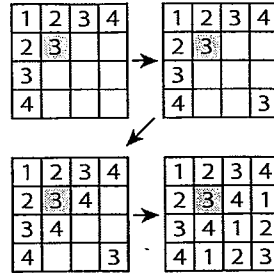


2行2列目に入る数字で場合分けをする。

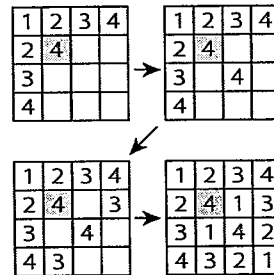
(i) 1が入るとき、残りの数字の入れ方は下図の2通りである。



(ii) 3が入るとき、残りの数字の入れ方は下図の1通りである。



(iii) 4が入るとき、残りの数字の入れ方は下図の1通りである。



(i)~(iii)より、残り3x3マスの数字の入れ方は4通りである。

そのそれぞれに対して、行の並び替えの方法が4!通りずつ、列の並び替えの方法が3!通りずつあるので、条件(*)を満たす数字の入れ方は、

$$4 \times 4! \times 3! = 576 \text{ (通り)} \quad \dots \text{(答)}$$

ある。